

行政評価シート(事後評価)

コード (73) 6-5-10	事務事業名 小児初期救急医療事業	所管部課 市民部健康年金課(旧保健福祉部健康推進課)
--------------------	---------------------	-------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	平日の通常的な診療時間終了後から深夜までの時間における小児の救急患者に対して、初期救急医療事業を実施することにより、平日準夜間における小児の初期救急医療体制を確保し、市民の健康を守るとともに、子育て支援を図ることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	現在、4市(東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市)5医師会(東村山市・清瀬市・東久留米市・小平市・西東京市)により、多摩北部医療センター(東村山市青葉町)において、毎週火曜日・金曜日(祝日・年末年始を除く)の午後7時30分から午後10時30分まで、小児初期救急平日夜間診療事業を実施している。加えて、平成19年7月より多摩北部医療センター(東村山市青葉町)で木曜日、佐々総合病院(西東京市田無町)で月曜日・水曜日に実施する。このことにより、月曜日から金曜日(祝日・年末年始を除く)までの毎日、いずれかの病院で受診できるようになる。	
事業開始時期	2005年6月 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
事業費(A)			315	336	700
財源	千円		90	94	
国庫支出金・都支出金					
地方債					
内訳					
その他()					
一般財源		0	225	242	700
所要人員(B)	人		0.02	0.02	0.02
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	164	163	163
臨時職員等賃金(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	479	499	863
単位当たりコスト					
(E)=(D)/(開院日数)	千円	#DIV/0!	5.8	5.0	4.5

活動等指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
開院日数	実績値		82	100	192
	実績値				
(指標の説明・数値変化の理由 など)					
平成19年7月より週2日から、週5日開院する。					
成果指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
一次 4市の総受診者数	目標値				
	実績値		196	336	
二次 小児の健康向上度	目標値				
	実績値				
(指標の説明・数値変化の理由 など)					
開設が、平成17年6月から毎週火曜日・金曜日(年末年始・祝日を除く)で実施。平成19年7月より月曜日から金曜日の5日間で実施する。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

診療日については、週2日間の実施であり、まだまだ十分とはいえない状態である。また、開設されている場所が、東村山市の多摩北部医療センターであるため、西東京市民の利用は、きわめて少ない状態である。小児初期救急平日夜間診療事業は、多摩地区の自治体でも13市が実施しているだけである。

コード (73) 6-5-10	事務事業名 小児初期救急医療事業	所管部課 市民部健康年金課(旧保健福祉部健康推進課)
--------------------	---------------------	-------------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	3		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>休日や夜間における初期救急医療の必要性は、今後ますます高まる傾向にあります。特に拠点となる医療体制の確立が必要です。近年親子の置かれている状況が複雑多岐にわたっており、安心して子育てができる体制作りとして、小児の夜間の医療体制の充実を図っていくことが求められている。</p> <p>今後は、拠点となる場所を市内に開設を働きかけ、より一層の充実を図る。また、小児科医師の確保が重要課題である。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	3			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>小児科医の減少傾向は、社会問題化する子育て環境にあっても重要な課題であり、広域連携による制度の発足は評価に値する。平成19年度からは、週2日から週5日に実施日が拡大され、加えて、市内病院での実施も開始している。今後は、受診者の実態などを把握し、事業効果について検証を行う必要がある。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>小児科医が減少する中、本事業は広域的な事業として継続的に実施すべきものであり、平成19年度から実施日を拡大したことは評価する。</p> <p>今後も事業効果を検証し、一層充実するよう、努められたい。</p>